

# 野菜を作る・選ぶ・食べる

## 常陸大宮市 有機農業の取り組み

令和4年度は、常陸大宮市有機農業推進計画に基づく有機農業推進1年目となりました。株式会社JA常陸アグリサポートが無農薬・無化学肥料で野菜の栽培を始め、その野菜を学校給食に導入するなど、市内での本格的な有機農業推進のスタートを切りました。今年度の主な取り組みを報告します。

### ■農業者支援

県営畑地帯総合整備事業を実施した三美地域を有機農業モデル団地としました。約10.5haの農地で3法人が有機農業に取り組んでいます。各種補助金を活用し農業者支援を行いました。

このほかに、栽培技術取得支援として、有機農業への転換を希望する農業者を対象とした栽培技術研修会(主催:JA常陸)を開催しました。



### ■理解促進

三美地域で有機農業を営農する法人の協力を得て、産地見学会と技術検討会を開催しました(共催:県北農林事務所)。産地見学会では、畑で生産者と消費者のつながりが生まれ、技術検討会では、農業者、有機農業に興味のある方から多くの参加をいただき、有機農業への関心の高さを感じました。



### ■販売促進

道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜に無農薬・無化学肥料で栽培された農産物販売コーナーを設けました。コーナーには、にんじん、さつまいも、だいこんが並びました。また、かわプラザ内のジェラート&スムージーで、かぼちゃ、さつまいも、にんじんをジェラートに加工し販売。新しい特産品として来館者から人気を得ました。



### ■食育授業

市立第二中学校で学校給食をテーマにした食育の授業が行われました。大宮給食センターで給食が完成するまでの動画を視聴。その後、三美地域で取り組まれている有機農業について郡司啓子栄養教諭から「有機農業はその土地に生息する生き物を守る環境にやさしい農業のひとつ。それを知ることによって野菜などを買うときの選択肢が増える。身近な事例でいえば、今年度皆さんが食べている給食に市内で生産された無農薬・無化学肥料で育てられた野菜を導入している。」と説明がありました。

また、これからの郷土を支えていく皆さんにしっかりと給食を食べてもらいたいという市長の思いも伝えられ「給食では、野菜を食べない傾向がみられる。野菜はビタミン類も豊富で皆さんの体を作るために必要な食物なので積極的に食べてほしい。」と話していました。生徒からは「ご飯を食べるときは栄養分を意識して食べたい」「少しでも野菜を多く食べる意識を持ちたい」「大切に給食を食べたい」「給食について考えた」と感想がありました。



### ■学校給食

三美地域で生産されたじゃがいも、かぼちゃ、さつまいも、にんじん、こまつな、ほうれんそう、合計6品目を学校給食に導入しました。給食センターで、さまざまな料理に調理され、児童生徒に提供されました。

今後も「オーガニック給食」を目指していきます。

#### 野菜の導入量 (R4.7~R5.3)

品目	数量(kg)
じゃがいも	707
かぼちゃ	242
にんじん	1,449
さつまいも	703
こまつな	593
ほうれんそう	353
合計	4,047



## 今後の取り組み(予定)

### 令和5年度

#### ■有機米栽培

有機米栽培の先駆者から栽培技術支援を受けながら、今年5月に初めての作付けを行います。除草や害虫対策が課題ですが、ほ場の環境に合わせた栽培方法の勉強を重ね、数年後には学校給食米飯を100%有機米とする目標を掲げています。

#### ■野菜

ほ場を拡大しながら、作付面積と品目を増やしていく予定です。

#### ■有機JAS認証取得支援

販売促進の一環として、市場への流通を見据え「有機JAS認証」取得を支援します。

#### 【農林振興課公式Instagram 開設!】

有機農業や市内の農業の様子などを発信していきますので、ぜひフォローをお願いします!



■問い合わせ■ 農林振興課農業畜産グループ 電話: 52-1111(内線206)